

平成 18 年度
泡瀬小学校環境学習実施報告書
(概要版)

—小学 5 年生を対象とした
総合的学習の時間での活用事例—

沖縄市

平成18年度泡瀬地区環境利用学習実施報告書(概要版)

目次

1. 目的	1
2. 実施期間・対象	2
3. 実施計画の策定	3
3-1 事前調整	4
3-2 プレ干潟観察会	4
4. 環境学習プログラムの実施	
4-1 第一段階 共通認識の構築	5
4-2 第二段階 クラス分け・班分け	6
4-3 第三段階 グループ学習の実施	8
4-4 第四段階 情報の共有・まとめ	10
5. 参考資料	11
6. 添付資料	
6-1 自然クラス用ワークシート一覧	13
6-2 社会クラス用ワークシート一覧	14

1. 目的

沖縄市では、泡瀬地区人工島の活用に当たり、人工島及び泡瀬地区周辺での環境学習の実施を計画している。このなかで実効性・継続性のある環境学習の実施・取組みが求められているが、これまでのところ継続的な環境学習への取組みは十分に実施されておらず、あまり普及していないのが現状である。現場単位で環境教育が広く普及する為には、単発の観察会よりも学校などの母体のあるところと継続的に取り組んでいくこと、特に感受性が豊かな若年層に対しての取組みが学習成果の到達度等、様々な点で有効と思われる。

そこで、先生方へのヒヤリングを元にプログラムを作成し、泡瀬小学校の5年生を対象とした環境学習をテストケースとして、そこから検出される運用上の問題点・課題の整理を行うこととした。



干潟観察会の様子



講話の様子

2. 実施期間・対象

環境教育の実施対象である泡瀬小学校は沖縄市東部に位置する公立校で泡瀬干潟から一番近い小学校である。対象となる5年生は1クラス35名の5クラス、総数約180名である。学校の後期期間2006年8月～2007年3月の総合学習の時間を活用し、環境教育の実施に取り組み、以下に実施スケジュールを示した。

平成18年度泡瀬小学校環境学習実施スケジュール

実施月	8月	9月	10月	11月					12月	1月		2月	3月			
学習内容・調整等	事前調整(※1)	プレ干潟観察会(※2)	干潟観察会	講話「昔の泡瀬について」	社会・自然クラス分け	班分け・グループ分け	学習テーマ決め	講話「干潟の仕組みについて」	タウンウォッチング	干潟観察会	調べ学習(まとめ及び発表)	調べ学習(まとめ及び発表)	調べ学習(質疑応答)	調べ学習(まとめ及び発表)	学習発表会	まとめの干潟観察会
対象	教職員	教職員 (全児童対象 クラス毎に観察)	全児童対象	1～5組の各クラス	社会・自然クラス(※3)	社会・自然クラス	社会・自然クラス	自然クラス	社会クラス	自然クラス	社会・自然クラス	社会・自然クラス	自然クラス	社会・自然クラス	全児童対象	自然クラス
実施場所	室内	泡瀬干潟	泡瀬干潟	室内	室内	室内	室内	室内	野外	泡瀬干潟	室内・野外	室内・野外	室内	室内・野外	室内	泡瀬干潟
環境学習				第1段階 共通認識の構築	第2段階 クラス分け・班分け ・グループ分け (環境学習実施フロー図参照)			第3段階 グループ学習の実施					第4段階 情報の共有・まとめ			

※1 事前調整:先生方から指導要綱、学年目標等から取り組みたい内容、時間数等をヒヤリングし、具体的な計画を策定する。

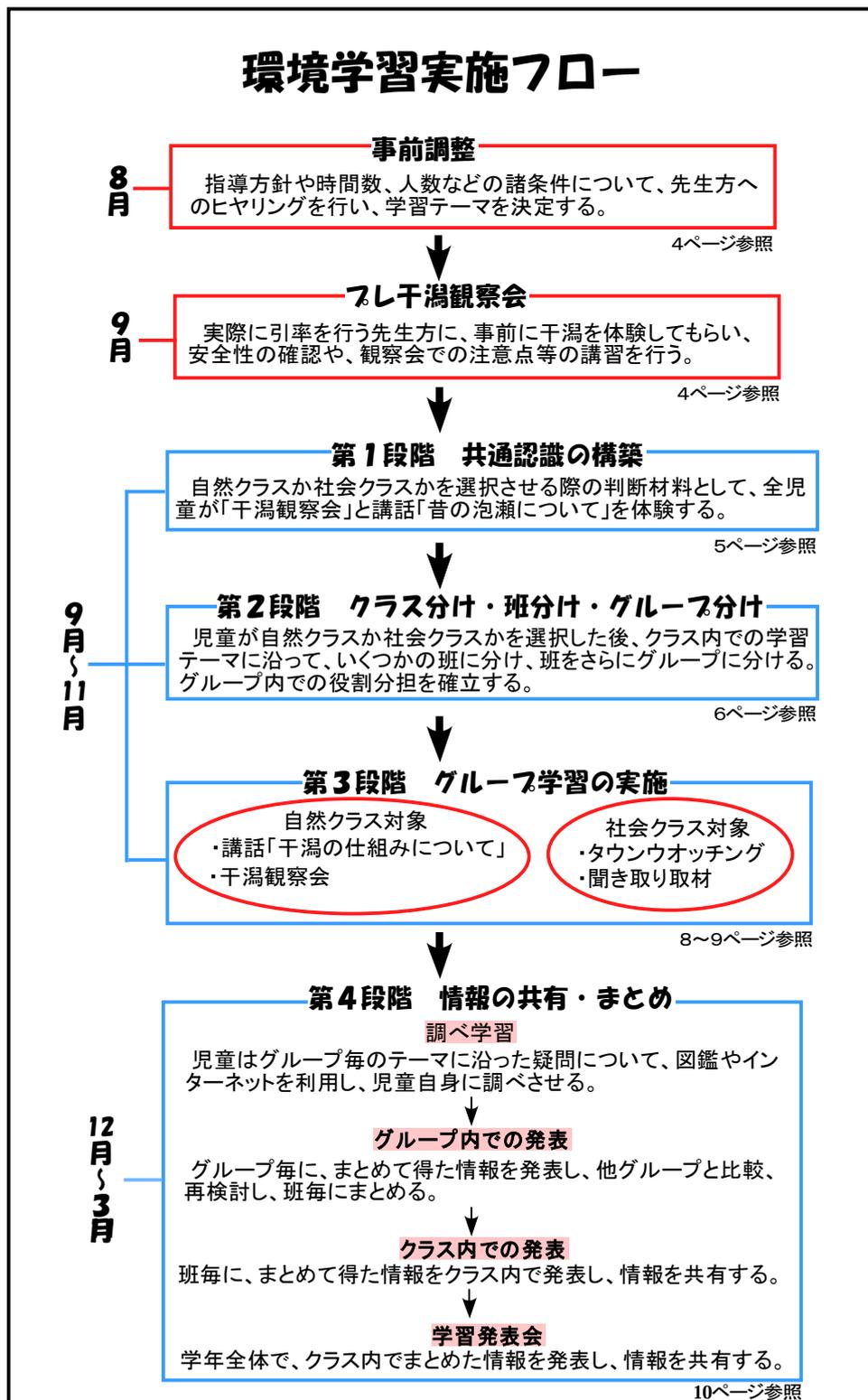
※2 プレ干潟観察会:実際に干潟で引率を行う先生方を対象に、干潟についての事前講習を行い、着眼点や安全性を確認してもらう。

※3 社会環境をテーマに調べる児童と自然環境(干潟)をテーマに調べる児童とに分けて、進めていった。

※なお、社会クラスの学習内容については、学校側から出された要望に沿ってのプログラム骨子の提案、補助教材の提供、講師等のコーディネートのみにとどめ、自ら講師やプログラムの実施は行っていない。

3. 実施計画の策定

環境学習の計画策定から実施までの流れをおおまかに以下に示した。



3-1. 事前調整

環境学習の実施に当たり、最初に学校側の要望(指導方針や時間数、人数などの条件、学習テーマ)について担当の教職員へのヒヤリングを行った。小学校から提示された条件は概ね以下の通りである。

◎総合的な学習のテーマ

“身近な泡瀬の地域と環境を知る” “自分で考え、調べる”

対象：泡瀬小学校5年生((35名/1組)×5組)

自然環境に対する負荷等を考慮して180名の生徒を干潟について学ぶ自然クラス2班(各35名)と社会クラス3班(各35名)とし、さらに1班を学習テーマ毎に5グループ(各7名)に分け、グループ内で児童に各々の役割を持たせ環境学習に取り組む。

期間：2006年8月～2007年3月(半年間)

約70コマ(1コマ45分程度)とし、総合的な学習の時間を利用。

3-2. プレ干潟観察会

実際に引率を行う教職員対象に事前に干潟観察会を実施した。参加者が干潟には様々な環境(砂州、転石帯、藻場等)があり、様々な生きものがあることを認識し、着眼点や安全に対する注意点を確認することを目的として行う。



教職員を対象としたプレ干潟観察会の様子

4. 環境学習プログラムの実施

4-1 第1段階 共通認識の構築

5年生全員が「干潟観察会」と講話「泡瀬の昔について」の両方を体験し、これから半年間取り組むクラス(自然クラスか社会クラス)を“自分で考え”選択する。

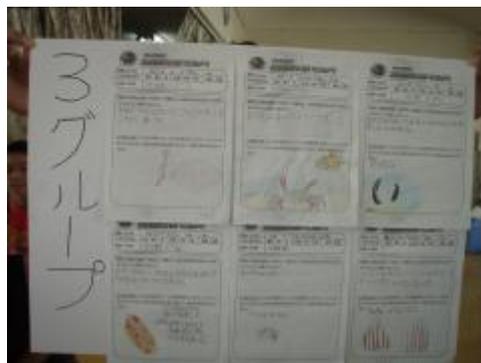
4-1-1 干潟観察会の実施(大潮の期間)(4コマ程度)

参加者は、多くの予備知識無しで干潟に入り、干潟にはいろいろな生きものがいることと干潟には様々な環境(砂州、転石帯、藻場等)があることを体験する。干潟観察会を実施する際には、大勢の人が一度に入ると環境へ大きな負荷がかかるため、保護者等を含む4、5名が引率者となり、1クラス35名を原則として実施した。

観察会后、参加者は感想・疑問等をワークシート(添付資料・自然ワークシート No. 1)に記入した。



干潟観察会の様子



児童たちがまとめたワークシート

4-1-2 講話「昔の泡瀬について」(9月秋休み前)(4コマ程度)

地元の人達の話聞き、自分たちの住んでいる地域の昔の状況を考える。

講話後、参加者は感想・疑問等をワークシート(添付資料・社会ワークシート No. 2)に記入する。

4-2 第2段階 クラス分け・班分け・グループ分け

先に実施した観察会や講話を通して、5年1組～5組の各組内で児童自身が自然クラスか社会クラスかを選択する。さらに自然クラスを生きもの班、仕組み班の2班に、社会クラスを移り変わり班、遊び班、食べ物班の3班にテーマに沿って分け(1班35名)、7名で1グループを構成する。つまり5年生全員でそれぞれの班が5グループで構成され、1組～5組という枠を超えて各テーマに沿って環境学習は実施される。

また、クラスを分けた後に、最後に児童に発表してもらう内容を分かりやすく示す(最終ゴール地点の明示)。グループの構成は以下に示す。



※1. グループ内での役割

リーダー：ワークシート等の資料の配布や注意事項の伝達、グループの人数確認等を行う。

記録係：リーダーの補佐、写真記録、グループ内で話し合った意見等を記録、管理する。

メンバー：リーダー、記録係に従い、学習課題に取り組む。

グループ構成図

4-2-1 自然クラスの学習内容

テーマ：「干潟の生きものや仕組みについて考える」

干潟の生きものや仕組みについて考えることを大きなテーマとして取り組む。まとめはそれぞれが収集した干潟の観察データとテーマについて調べたワークシートを張り出して発表する(添付資料・自然ワークシート No. 2～No. 4)。具体的な内容については以下の通りである。

- ・干潟の機能に重点をおいて波打ち際、転石帯、砂州、岩場、藻場等にいる生きものが他の生きものとどのように関係しているかを考える。
- ・泡瀬干潟の地図の中に環境を記録する(おおよその陸からの距離や石の大きさや場所、砂地の質:掘った時の礫の有無や水のにごり、におい等)。
- ・干潟の仕組み(機能)についての講話を聞いて、取り組むテーマを児童たちで決める。
- ・鳥や魚にとって干潟とはどんな役割を持つかも考える。
- ・採集する、標本にする、観察する、実験を組む、じっくり見る、ワークシートをまとめることができるような指導も考慮する。



自然クラスは以下の2班に分ける

- 仕組み班：干潟がどんな役割を果たしているか、特に浄化作用について考える。
- 生きもの班：干潟にいる生きものに注目し、その生きものがどのように生活し、また他の生きものとどのように関係しているかについて考える。

4-2-2 社会クラスの学習内容

テーマ：「歴史を軸に自分で調べる」

“歴史を軸に自分で調べる”ことを大きなテーマとし、地理的、民俗的なテーマに沿って地域についての過去を児童自身が調べてまとめる。まず、自分達の興味のある食べ物や遊び、場所について調べ、次に、両親や祖父母、お年寄りに自身の小学生当時のことを聞いて今と昔を比較する。必要に応じてタウンウォッチング、地元の人や博物館への取材、親や祖父母への聞き取りなどを行う(添付資料・社会ワークシート No. 1～No. 16 使用)。まとめはそれぞれ調べたことを年代順に整理し、年表等を作成・発表する。



社会クラスは以下の3班に分ける

- 食べ物班：今と昔(親や祖父母)の、場面ごと(放課後、夕飯、正月、お盆など)に食べていたものの違いを調べる。
- 移り変わり班：昔の地図を元に泡瀬の集落の移り変わりについて調べる。
- 遊び班：今と昔(親や祖父母)の、場面ごと(放課後、夕飯、正月、お盆など)の遊びについて調べる。

4-3 第3段階:グループ学習の実施

グループ学習では、グループ内で決めた役割を児童が果たし、自分たちが決めた課題に対して、全員で取り組み、得られた情報から自分達なりの答えを導き出すことを目指す。なお、社会クラスについては本年度、学校側から出された希望に沿ってプログラム骨子の制作及び補助教材の提供のみにとどめ、実施は学校側で行う。

自然クラス対象グループ学習

講話「干潟の仕組み(機能)について」

生きたアサリを使った浄化実験を通して、干潟の機能のひとつである水の浄化作用を説明。今までの体験をもとに仕組み班、生きもの班内の各グループは何を調べるかを話し合っ、取り組むテーマを決定する。

(添付資料・自然ワークシートNo.2)



「干潟観察会」

グループ毎に干潟の様々な環境(転石帯、藻場、砂州等)に注目して観察会を実施する。様々な環境の代表地点に方形枠を設置し、そこにいる生きものや環境をなるべく詳しく記録する。

(添付資料・自然ワークシートNo.3
~No.4)



「まとめ」

講話や観察会の後、児童は感想・疑問等をワークシートに記入し、グループ毎にまとめ、発表する。疑問等については、今後の「調べ学習」の課題とする。

(添付資料・自然ワークシートNo.3
~No.4)



社会クラス対象グループ学習

「タウンウォッチング」

資料をもとに教職員が説明しながら、東之御嶽、カーヌ毛、ビジュアルを散策する。個人個人がワークシートに気がついたことを記入していく。このワークシートは調べ学習や聞き取りを行うときに使用する。また、各班のテーマを決める際にも使用する。



(添付資料・社会ワークシートNo.1
～No16)

「聞き取り調査」(冬休みの宿題)

親や親戚などにそれぞれグループのテーマについて取材する。必要に応じて地元の人への追加取材を行う。

(添付資料・社会ワークシートNo.2～No16)

「まとめ」

タウンウォッチングや聞き取り調査の後には、児童は感想・疑問等をワークシートに記入し、グループ毎にまとめ、発表する。疑問等については、今後の「調べ学習の課題とする。

(添付資料・社会ワークシートNo.2～No16)

4-4 第4段階:情報の共有・まとめ

調べ学習

児童は、グループ毎のテーマに沿った疑問について、図鑑やインターネット等を利用して調べ、まとめる。必要に応じて専門家等に質問する。



班内での発表 (同じ班内での情報の共有)

班毎にグループ学習でそれぞれまとめた情報を発表し、他グループの情報を得て、自分たちの考えを整理する。なお、各グループはそれぞれ調べたことを壁新聞あるいは年表等にまとめ、学習発表会で発表を行う。

学習発表会

環境学習のまとめをグループ毎に各組内で発表した。各グループは、それぞれ調べたことを壁新聞にまとめ、他の児童に向けて1グループ10分程度で発表を行う。

※全ての班が1つの組の中にある。(7ページ参照)



情報の共有

5 参考資料

今回の環境学習で使用した資料は以下のとおり。

○自然クラス用環境学習

中城湾港泡瀬地区生物ハンドブックー海辺の生きもの達ー. 監修) 香村・立原・仲宗根・小澤・西平・新垣・赤嶺・大森. 沖縄総合事務局中城湾港出張所, 2006.

久保弘文・黒住耐二, 1995. 沖縄の海の貝・陸の貝. 沖縄出版, 沖縄県浦添市, 263pp.

千原光雄, 2002. フィールドベスト図鑑 11 日本の海藻. 学習研究社, 東京, 192pp.

田中次郎・中村庸夫, 2004. 日本の海藻 基本 284. 平凡社, 東京 248pp.

○社会クラス用環境学習

泡瀬史. 泡瀬復興期成会, 1988.

写真集ふるさと泡瀬. 泡瀬復興期成会, 1997.

泡瀬村創立百周年記念誌. 泡瀬復興期成会, 2005.

国土地理院 2万五千分の1地形図 沖縄市南部

平成 17, 11, 5, 昭和 60, 48, 大正 8(泡瀬)年度版

進駐米軍 1948年作成 4800分の1地図(昭和 23年)

正保琉球国絵図

天保琉球国絵図

沖縄県管内全図明治 18年

沖縄県管内図大正 5年

6 添付資料

泡瀬小学校環境学習用資料

- ①自然クラス用ワークシート一式(自然ワークシート No. 1～No. 4)
- ②社会クラス用ワークシート一式(社会ワークシート No. 1～No. 16)

自然クラス用ワークシート一覧



自然ワークシートNo.1

観察記録を書いてみよう!

年 組 氏名
観察した日時 平成 年 月 日 時 ー 時
天気や風の様子 晴れ・曇り・雨 大塚・中塚・小塚 浜側・平瀬
観察した場所 乾石巻・岩巻・崖巻・砂洲・流石巻

◎観察の感想 干潟は広い、かわのせいで、砂、泥、水まで、にびにびで、色は、どよみ、いろいろな色があった。気づいたことを書いてみよう。

◎生きものの観察 どんな生きものがいた? どんな所にいたのかな? 他に、いるのかな? 生きものが動いた跡はないかな? 絵や言葉で自由に書いてみよう。画像や画像もあそびよう!

自然ワークシート No. 1



自然ワークシートNo.2

自然クラス (生きもの畑・仕組み畑) グループカード

年 組 氏名: _____ 日時: 平成 年 月 日

グループの名前: _____

選んだテーマ(何?について調べよう!): _____

どうしてこのテーマにしたの? _____

先生からのアドバイス

自然ワークシート No. 2



自然ワークシートNo.3

干潟観察会ワークシート

年 組 グループ名: _____

観察のポイントや気づいたことを記録しよう!!

◎観察の感想 干潟は広い、かわのせいで、砂、泥、水まで、にびにびで、色は、どよみ、いろいろな色があった。気づいたことを書いてみよう。

◎生きものの観察 どんな生きものがいた? どんな所にいたのかな? 他に、いるのかな? 生きものが動いた跡はないかな? 絵や言葉で自由に書いてみよう。画像や画像もあそびよう!

自然ワークシート No. 3



自然ワークシートNo.4

干潟観察会ワークシート (生きもの畑 仕組み畑)

年 組 グループ名: _____ 日時: 平成 年 月 日

今いる場所を記録しよう!!

[写真]

自然ワークシート No. 4

社会クラス用ワークシート一覧 その1

社会クラス用ワークシート No.1
社会クラス (遊び班・食べ物班・移り変わり班) グループカード
 グループメンバー

年 組 氏名: _____
 日時: 平成 年 月 日

グループの名前: _____

選んだテーマ(何?について調べよう!): _____

どうしてこのテーマにしたの? _____

先生からのアドバイス _____

社会ワークシート No. 1

社会クラス用ワークシート No.2
インタビュー取材ワークシート

班(グループ)の名前: _____

年 組 氏名: _____
 取材日時: 平成 年 月 日

お話を聞いた人の性別(男・女)	() 男 () 女
生まれた年	_____
子どもの時に住んでいた場所	_____
当時の思い出についてお話を伺っています	_____
住いなくなった場所を思い出しています	_____
グループで気がついたこと	_____

社会ワークシート No. 2

社会クラス用ワークシート No.3
移り変わり班

年 組 グループ名: _____

日時: 平成 年 月 日

地図シート: 2005年(平成17年) 今から()年前の地図

【メモ】 _____

社会ワークシート No. 3

社会クラス用ワークシート No.4
移り変わり班

年 組 グループ名: _____

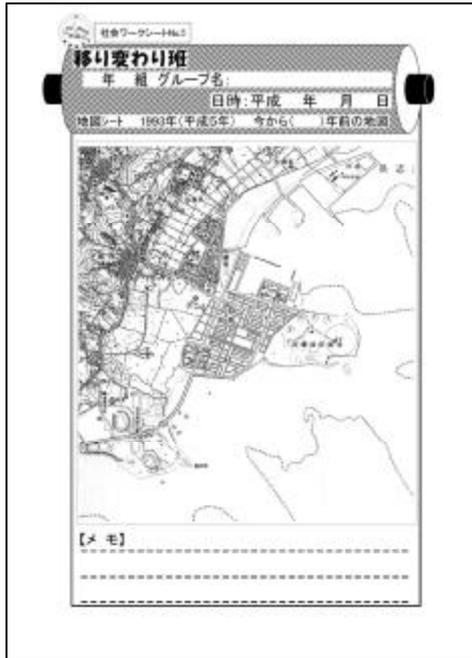
日時: 平成 年 月 日

地図シート: 1999年(平成11年) 今から()年前の地図

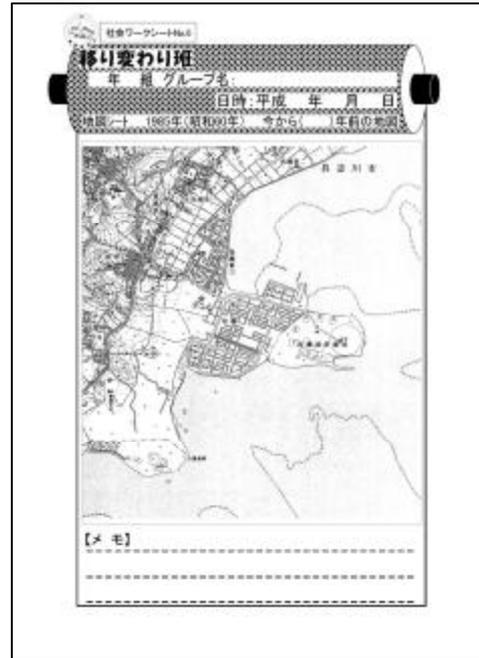
【メモ】 _____

社会ワークシート No. 4

社会クラス用ワークシート一覧 その2



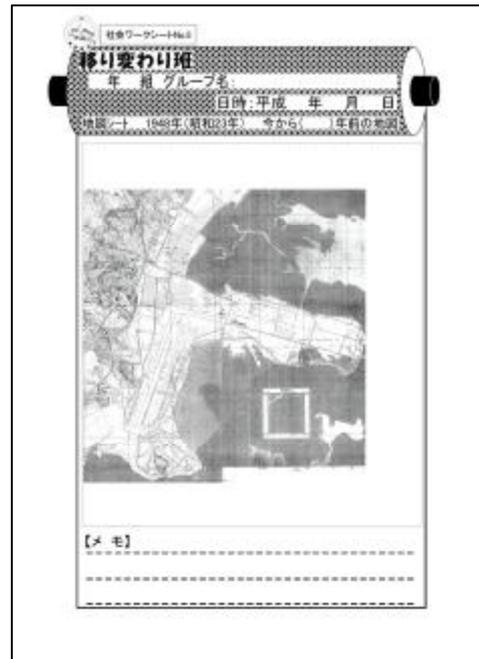
社会ワークシート No. 5



社会ワークシート No. 6



社会ワークシート No. 7



社会ワークシート No. 8

社会クラス用ワークシート一覧 その3



社会ワークシート No. 9



社会ワークシート No. 10

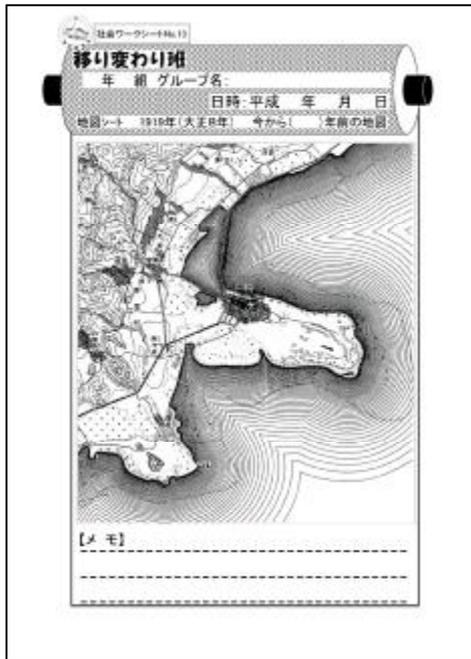


社会ワークシート No. 11

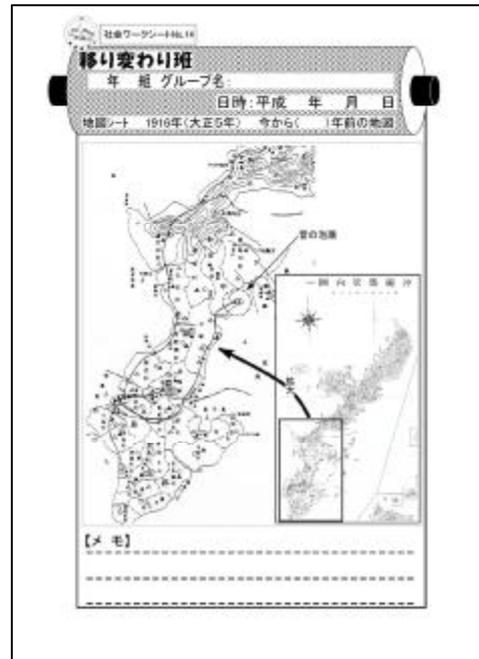


社会ワークシート No. 12

社会クラス用ワークシート一覧 その4



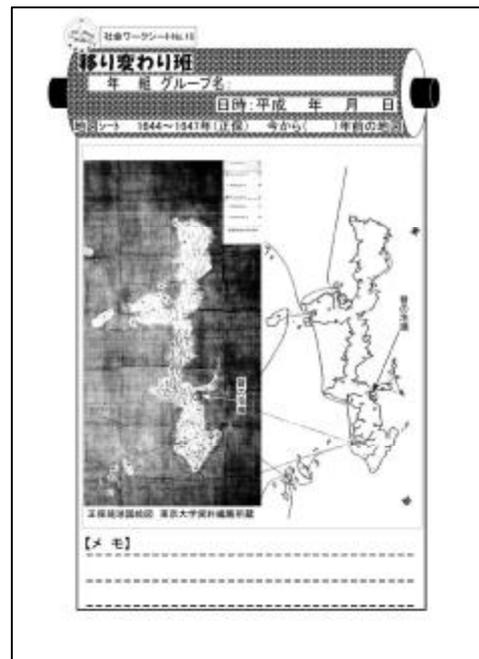
社会ワークシート No. 13



社会ワークシート No. 14



社会ワークシート No. 15



社会ワークシート No. 16

平成 18 年度泡瀬小学校環境学習実施報告書(概要版)

沖縄市 建設部 東部海浜開発局 計画調整課

〒904-8501 沖縄県沖縄市仲宗根町 26-1

TEL (098)939-1212(代)

FAX (098)939-6313

<http://www.city.okinawa.okinawa.jp/>

→トップページ→各課案内→計画調整課

E-mail a68keika@city.okinawa.jp

2008 年 3 月